

8月1日は「水の日」です

水は命の源

ふだんなにげなく使っている、水。あつて当たり前のように思いがちですが、水は限りある大切な資源です。あなたも水の大切さについて考えてみませんか。

■生活に欠かせない「豊川」の水

東三河地域の生活や産業の発展は、豊川の水に支えられています。豊川の水は、豊川用水を通じて広い範囲で利用され、水道用水、工業用水、農業用水などに使われています（グラフ1）。しかし、豊川は渇水になりやすい条件を持っています。

■渇水になりやすい「豊川」

① **雨がすぐに海に流れてしまいます**
豊川は隣接する天竜川と比べて、流域面積が狭く川の長さも短いため、雨が降っても短時間で海に流れてしまいます。そのため、降った雨を安定的に確保するのが難しくなっています。

② 水をためる施設が不足しています

東三河地域の生活や産業を支えるために必要な水の量に比べて、豊川水系には貯水施設が少なく、ためておける水の量が少ないため、雨の降らない日が続くと水の需要と供給のバランスが崩れ、渇水を起こしてしまいます。

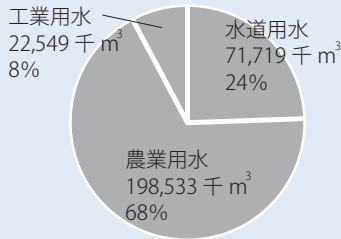
■さまざまな影響を及ぼす渇水

① **水の利用が制限されます（表1）**
これまで豊川ではたびたび取水制限が行われ、工場の生産調整、農産物の生育不良などの渇水被害が生じています。また、水道用水の減圧給水や学校のプールが利用できなくなるなど市民生活にも影響を及ぼします。

② 環境にも影響があります

渇水時には、河川流量が著しく減少し、河川環境やそこに生息する魚類などへ影響を及ぼすことがあります。

■グラフ1 豊川からの主な用途別取水量 (平成18年度)



■表1 豊橋市内の平成元年以降の節水実施日数

平成元年	9日
平成2年	42日
平成3年	27日
平成4年	72日
平成5年	65日
平成6年	131日
平成7年	217日
平成8年	274日
平成9年	135日
平成10年	11日
平成11年	0日
平成12年	28日
平成13年	119日
平成14年	54日
平成15年	0日
平成16年	0日
平成17年	72日
平成18年	37日
平成19年	0日



▲渇水時の宇連ダム(平成18年2月)

豊川の上流(設楽町) ▶

問合せ先

企画課(☎51・2183)

家庭で簡単に取り組める節水方法



風呂の残り湯を有効活用

一般家庭での風呂の残り湯は約180リットルです。洗濯などに利用すれば節水になります



蛇口の開け閉めはこまめに

流しっぱなしにすると1分間で約12リットルの水が流れます



雨水をためて使う

雨水をためて草木の散水などに利用することで節水になります



車を洗うときはバケツで

1台洗うのにホースからの流し洗いでは約240リットルの水を使いますが、バケツで洗えば約30リットルですみます

(出典：東京都水道局)

■ 渇水を防ぐために

① 水源となる森林の保全

安定的に水を確保するためには、水を蓄えるための森林やダムなどが必要です。豊橋市では、(財)豊川水源基金を通じて水源となる森林の保全のため、間伐や下刈りなどの森林整備や、間伐などを行う人材の育成などに取り組んでいます。

② 水のリサイクル

限りある水資源を有効利用するためには、下水処理水や雨水を再利用する取り組みが大切です。豊橋市では、公園の樹木や街路樹の散水に下水処理水を利用したり、公共施設のトイ

して雨水を利用する取り組みをしています。

③ 安定した水の確保

現在、設楽町では治水や利水、河川環境の保全機能を持った設楽ダムの建設に向けた準備が進められています。

〈日頃から節水に努めましょう〉

水資源を無駄にすることなく利用するために、私たち一人ひとりが日頃から節水に努める必要があります。渇水時にだけ節水をするのではなく、毎日の暮らしのなかで水を大切にすることが重要です。

新たな水源の確保

新たな水源確保のために建設の準備が進められている、設楽ダムについて紹介します。

〈設楽ダムの役割〉

① 利用可能な水をためます

東三河地域へは、豊川から主に豊川用水を通じて水が供給されていますが、近年もたびたび水不足になっています。設楽ダムは、新たな水源を確保し、利用可能な水をためることができます。

② 川のはらんを防ぎます

豊橋市では、過去に豊川の洪水によって大きな被害をうけています。設楽ダムは、大量の雨が一度に豊川に流れ出さないようにし、豊川のはらんを防ぐ役割を持っています。

③ 川の流れを保ちます

川に一定量の水が流れないと、動植物の生態系などに影響を及ぼすことがあります。設楽ダムは、雨が降った時に水をため、渇水時に豊川に一定量の水を流すように計画されています。

設楽ダム建設事業の最近の動き

